

2006 年 冬学期 第 9 回 物性セミナー

講師 白石 潤一 氏 (東大数理)

題目 差分系のソリトンとその量子化について

日時 2007 年 1 月 19 日 (金) 午後 4 時 30 分

場所 16 号館 827

アブストラクト

マクドナルド対称多項式の理論は、もっとも良く理解されている量子化ソリトン理論であろう。しかし、その古典極限についてはあまり調べられていない。

マクドナルド理論を拡張することで、量子化および差分された KdV 方程式を含む量子可積分系のあるクラスが得られる。しかし、その波動関数を調べることは困難な未解決問題である。

ソリトンの量子論をより良く理解するために、拡張されたマクドナルド理論の古典極限においてその特殊解を調べる。

宣伝用 PDF ビラ

物性セミナーのページ

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/FSwiki/wiki.cgi/BusseiSeminar>

駒場セミナーカレンダー (駒場内のみアクセス可)

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/webcal/webcal.cgi>